

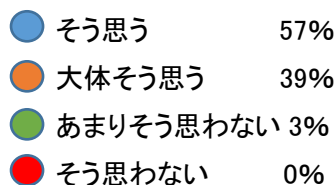
令和5年度 学校評価アンケート(7月実施)の結果

立冬の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

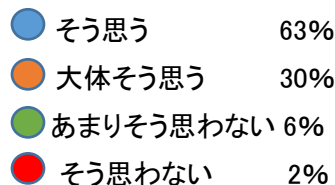
さて、7月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者に対してはスクリレを利用し、スマホから直接アンケートに回答できるようにした結果、487の回答(回収率64%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

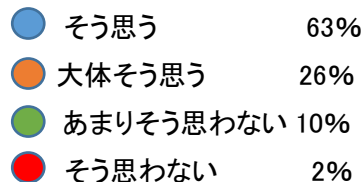
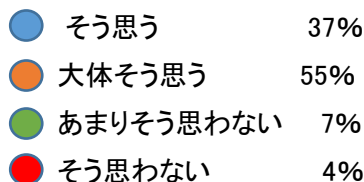


(児童)学校が楽しい。



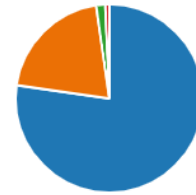
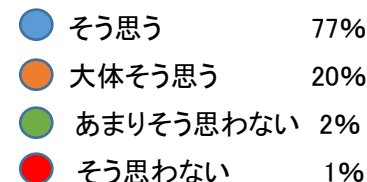
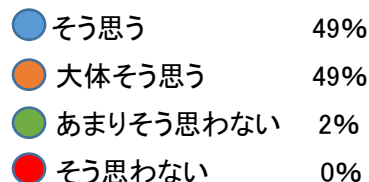
93%の児童が「学校が楽しい」と思ってくれていて、嬉しく思います。しかし、気になるのは「あまりそう思わない・そう思わない」と答えた児童が8%います。児童数に直すと55名です。今よりもっと楽しい授業、楽しい行事ができるように心がけるのは当然ですが、面談やアンケートをして、一人一人の思いに各担当が寄り添っていきます。

② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。



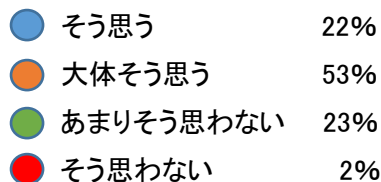
基礎的な学力を定着させる第一歩は「よくわかる授業」です。児童の約90%が「授業がよくわかる」と思っていることがわかりました。しかし、「わかる」と「できる」には違いがあります。児童ができるようになるまで、授業を通して見届け、指導を続けていきます。

③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

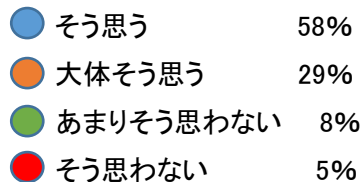


本校の児童は、思いやりのある優しい心が育っており、自分自身でも「大切にしている」という自覚があることを嬉しく思います。一方で、ほんの少しですが、大切にできていないと感じている児童がいるのも事実です。大切にすることはどういうことか、大切にしている具体的な方法や言葉がけがわからないのかもしれませんが、まずは教師も保護者も一緒になって、常に大人が「人を大切にする姿勢」を示し続けたいですね。

④ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

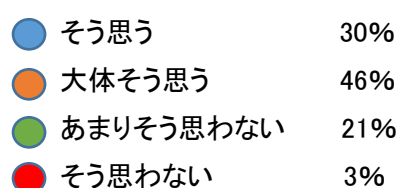


(児童)自分から進んで挨拶をしている。

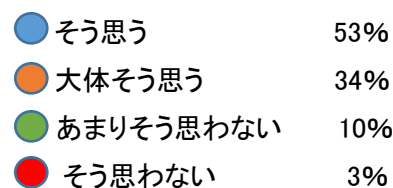


「自分から挨拶をしよう。」と全校で取組をした時は、挨拶が出来る児童が増えますが、その取組が終わると、また出来なくなってしまいます。先生や友達には挨拶が出来ても、安心安全ボランティアの方や警察の方など毎朝の見守りで立っていただいている地域の方への挨拶が出来ない場合があります。まずは教職員が元気な挨拶をして、お手本を見せていきます。

⑤ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

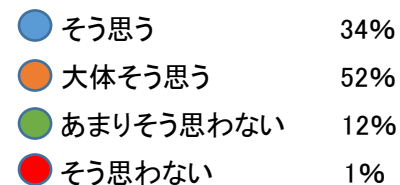


(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

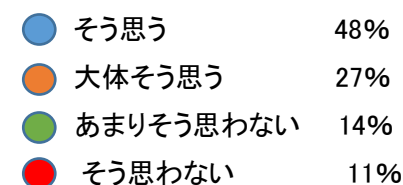


87%の児童が進んで家庭学習に取り組んでいます。様々な事情があると思いますので、無理のない範囲で取り組んでほしいなと思っています。子どもたちに過度な負担がかかっている場合は、遠慮なく担任までご相談ください。

⑥ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。

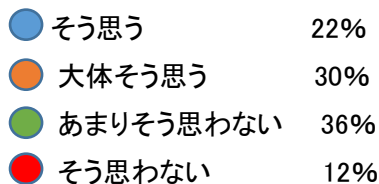


(児童)家の人に学校での様子を話している。

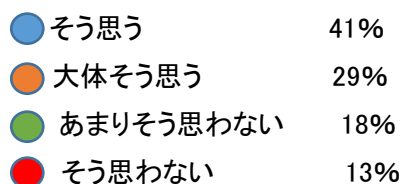


子どもたちは約半数が学校での様子を話していると感じていますが、保護者の方にはもっといろんなことが知りたいと思われるのだと思います。できる限り学習・学校生活の様子をホームページでお伝えし、家庭での会話のきっかけになればいいなと思います。

⑦ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が身についている。

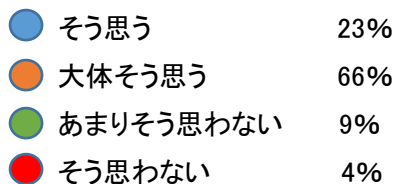


(児童)家で進んで読書をしている。

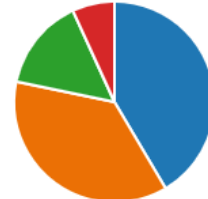
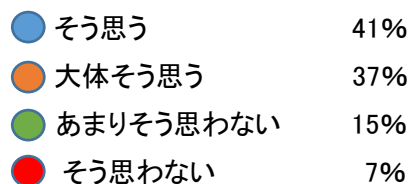


保護者が感じられている以上に、子どもたちは家でも読書をしていると感じていることがわかりました。テレビ、YouTube、ゲーム、スマホなどに時間がとられがちな現代ですが、時間を決めて親子で読書をする時間ももっていただけたらありがたいです。

⑧ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いてくれたり相談に乗ってくれたりしている。

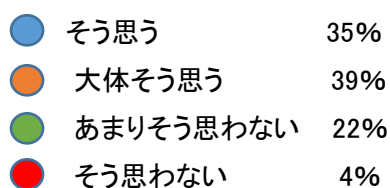


(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したりしている。

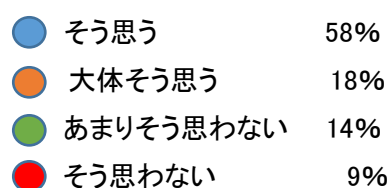


一人でも、「先生に話したい、相談したいのに、できない。」と思っている児童や保護者がいるのは改善していかなければなりません。担任だけでなく、学年の先生、専科の先生、教職員誰にでも話しやすい学校づくりを心掛けていきます。

⑨ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が身についている。

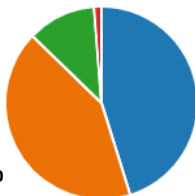
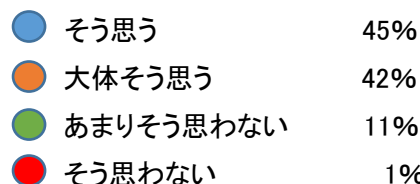


(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。

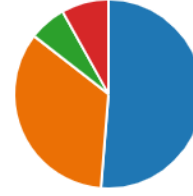
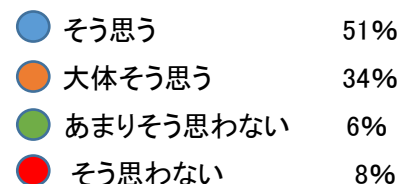


コロナ禍以前は「そう思う」「大体そう思う」合わせて約 9 割でした。今年度は猛暑の影響もあって、休み時間や放課後遊び、部活動などに制限をかけざるを得ない日が多く、学校・家庭ともに室内で過ごす児童が増えているのが事実です。涼しくなってきたら、積極的に体を動かす機会を増やし、少しでも子どもたちが運動できるように働きかけていきます。

⑩ (保護者)子どもは、基礎的生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。



昨年度よりも、「そう思う」「大体そう思う」の割合が大きく減少しています。ゲームやスマホ、YouTube、習い事などで寝る時間が遅くなっているのかもしれませんが。もう一度、親子で寝る時間や起きる時間の目標を話し合い、生活習慣を整えて、元気に学校へ来てくれるのを待っています。

次回は 12 月に学校評価アンケートを実施する予定です。どうぞご協力よろしくお願いいたします。
それまでに、何かご意見などありましたら、いつでも遠慮なくご連絡ください。